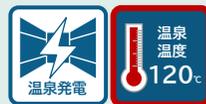


# コミュニティ発電 ザ・松之山温泉



## 概要

十日町市所有の源泉から湧出する約120℃の蒸気及び熱水を利用してバイナリー発電を行っている。年間約124万kWh（一般家庭280世帯相当）発電しており、東北電力やみんな電力に売電している。

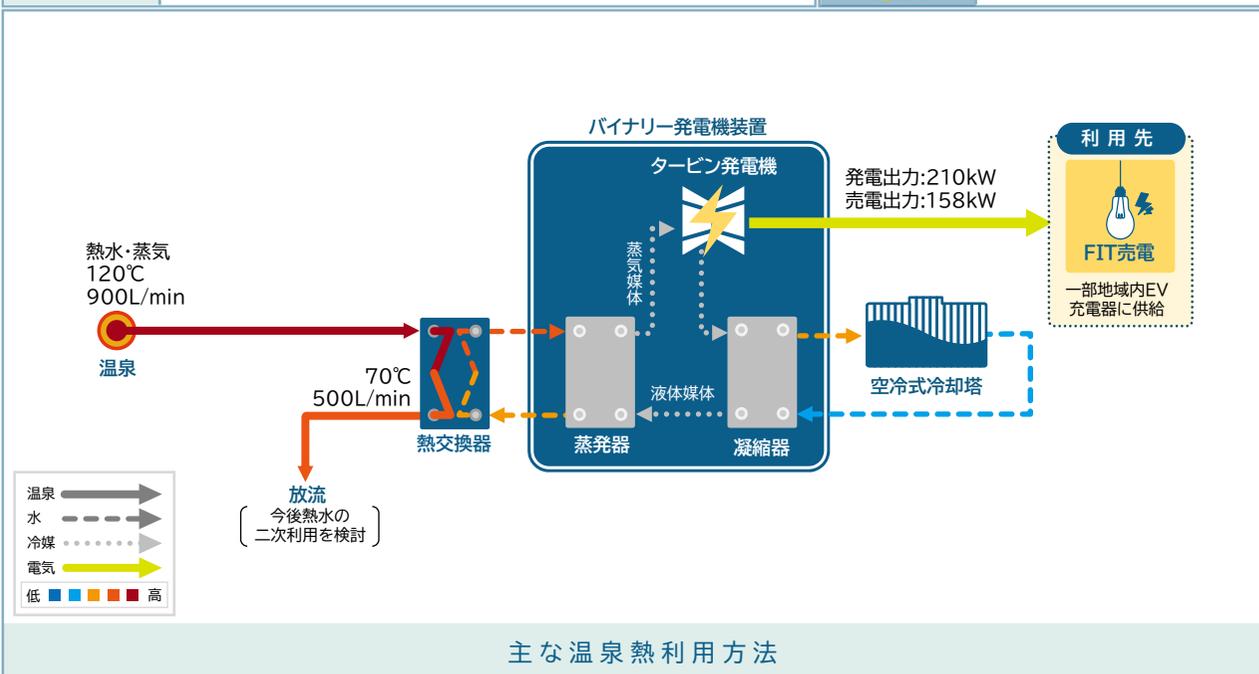
十日町市の第二次総合計画の目標（市内の電力消費量の30%を再生エネで創出）達成のための取組の一つとして、事業化が検討されてきた。当初、源泉枯渇への懸念から地元住民等関係者の多数が事業に反対していたが、源泉の監視・状態把握方法や問題発生時の対処等について話し合い、関係者の不安を一つずつ解消したことと、余剰温泉資源のみの利用に制限したことで地域合意に至った。



泉質	ナトリウム・カルシウム塩化物泉
熱利用温度	120℃
利用温泉	既存温泉
総事業費	-

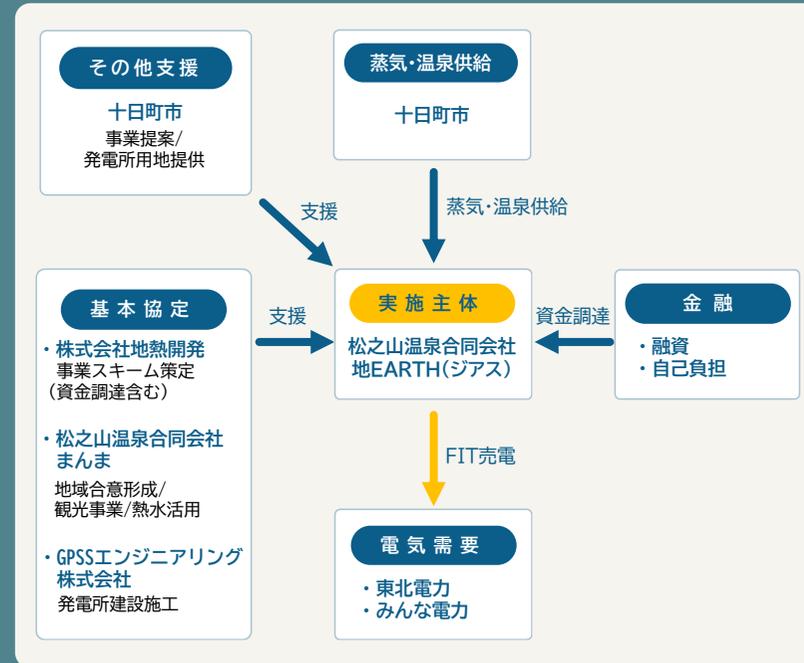
**主な効果**

- ・地域内外からの見学・視察
- ・地域的取組への波及効果
- ・地域のつながり強化
- ・地域の魅力増

※本事例は「令和3年度温泉熱等の有効活用等普及促進調査等委託業務」にて調査・整理した事例であり、掲載情報は調査当時のものであることから、詳細な状況は変更されている可能性があります。  
※温泉熱利用に係る事業費等が不明のため、CO2排出量削減効果、ランニングコスト削減効果は算出しておりません。

## 実施体制



## 事業検討の流れ

